

一般社団法人 宇部青年会議所 2022 年度 スローガン

Create The Future ~未来にタネをまこう~



JC NEWS

2022.vol.1

<発行> 一般社団法人 宇部青年会議所 HP <https://ubejcc.com> E-mail mail@ubejcc.com
<事務局> 宇部市相生町 8-1 宇部興産ビル 6F TEL (0836)33-2838 FAX (0836)33-7735



新年式典

2022

年頭の御挨拶

第67代理事長 二木隆行



新年あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては輝かしい新年を迎えられ、健やかに日々をお過ごしのことと、お慶び申し上げます。また、平素より私共一般社団法人宇部青年会議所の活動に対しまして、多大なるご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

2021年は藤井理事長の掲げられた「錦上添花く助け合いで生まれる新たな彩り」というスローガンのもと事業を展開して参りました。

新型コロナウイルスの影響により、新年懇親会の中止等、すべての事業を終えることはできませんでしたが、コロナ禍の中、どのようにすれば事業が開催できるか、知恵を絞り運動を続けて参りました。宇部市の魅力ある情報を多くの人々に発信できるように、工夫を凝らした「うべ地域情報発見・発信WEBサイト」コレミテ「UBE」や、子ども達にデジタルに触れてもらい、プログラミングに対する興味や関心を高めてもらうと開催した「UBECRAFT」ゲームで作ろうUBE「CITY」など、今できることを考え、運動を推進して参りました。

また、1月17日に開催いたしました「新年式典」ですが、新型コロナウイルス対策で急遽、飲食を控え開催させていただきましたが、多くのご来賓、先輩方のご臨席を賜り、良い形で本年度をスタートすることができました。会員一同、大変感謝しております。

本年度はスローガンを「Create The Future」未来にタネをまこう」とさせていただきました。新型コロナウイルス感染症の長期化による影響は、人やモノの移動が世界規模で停滞し、経済だけでなく社会活動にも深刻な打撃を与えました。これは青年会議所活動も例外ではありません。今までの常識が非常識に変わるような、困難とも呼べる社会状況の中ですが、我々青年はこの社会的転換点に立ち活動を止めることなく、今できることを考え行動していかなくてはなりません。

「明るい豊かな社会の実現」という変わらない使命のために我々は変わり続けなければなりません。我々はどんな時代であっても失敗を恐れず歩みを止めることなく運動を続けることで自己を成長させていかななくてはなりません。そして、次代を担う人材を育成するために、我々は未来にいくつものタネをまかななくてはなりません。すべて開花することはないかもしれませんが、それでも運動を続けていく事が大切です。宇部青年会議所のあるべき姿を常に追い求め必要とされる団体であり続けるために全力で活動して参ります。

本年も我々の活動に對しましてこれまで同様、変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。そして、皆様のご活躍とご健勝を心からご祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。一年間どうぞよろしくお祈り致します。

2022

年頭の御挨拶

宇部市長 篠崎圭二



明けましておめでとうございます。謹んで、新年のご挨拶を申し上げます。

一般社団法人宇部青年会議所及び会員の皆様におかれましては、1956年の創立以来、「修練・奉仕・友情」のJC3信条をモットーに、若さと情熱をもって、未来を担う子どもたちの育成事業など地域の諸課題への取組や、本市が開催するイベントの運営支援などに多大なるご貢献をいただくとともに、平素から市政各般に対して、格別のご理解とご協力を賜り、衷心より感謝申し上げます。

昨年は、藤井茉莉理事長のもと、新入会員様を対象にした勉強会の開催のほか、コロナ禍と言われる状況の中で、山口大学工学部と連携して小学生にプログラミングを通してデジタル技術の楽しさにふれる機会を提供する「UBECRAFT」ゲームで作ろうUBE「CITY」を開催され、将来のデジタル人材の育成や地域の活性化につながる事業に積極的に取り組まれました。

本年は、二木隆行理事長による新体制のもと、「Create The Future」未来にタネをま

こう」というスローガンを掲げておられます。先人たちの想いを受け継ぎ、会員の皆様の相互の協力を基に、明るい豊かな未来都市への創造に向けた情熱あふれる取組に大いに期待をしております。

本市は昨年、市制施行100周年という大きな節目を迎え、本年は次の100年に向けてのはじめの一步の年となります。現在、これからのまちづくりの指針となる「第五次宇部市総合計画」及び今後の本市の産業振興のありたい姿を示す「宇部市産業振興計画」を策定しているところであり、貴会議所におかれましては宇部市産業振興計画策定委員会のメンバーとしてもご意見を賜っているところであります。

先人達が「共存同栄・協同一致」の精神（ころ）のもと、「ふるさと宇部」を築きあげられたように、次の世代への礎を築くことは私たちの使命と考えています。

貴会議所の皆様におかれましては、明るく豊かなまちづくりのため、地域経済の発展や福祉の充実、青少年の健全育成などに引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

おわりに、宇部青年会議所ますますのご発展と、会員の皆様にとって素晴らしい一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。



2022

年頭の御挨拶

OB会長
新山智幸

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

2022年度宇部青年会議所OB会長をお預かりいたします新山智幸と申します。

すこしでも宇部青年会議所とOB会の発展に貢献できるよう、気合いを入れて努めてまいります。何卒よろしくお願いいたします。

昨年は藤井茉莉理事長の「錦上添花く助け合いで生まれる新たな彩り」のスローガンのもと、一昨年、残念ながら行えず悔しい思いをされた櫻井直前理事長や理事メンバーの想いも一緒に：と誓い、「ウィズコロナ」、「ニューノーマル」と、いつもとはまた違った趣向と工夫を凝らした多くの事業で、市政100周年をめでたく迎えた我がまち宇部市とともに盛り上げてくれました。

その中でも公益社団法人日本青年会議所中地区山口ブロック協議会褒章事業において、ニューノーマル部門で見事グランプリに輝かれ、新しい時代のニューリーダーINGLOMとして認知され、更なる活躍を期待したいところです。

計画通りに行えなかった事業も多くあると聞かれています。しかしながらカタチを変えながらも、目的を大切に試行錯誤しながら進めていくことでメンバー同士の絆はより深くなったと感じます。

昨年の事業開催の際には多くの皆様に多大なるご協力を賜りましたこと深く御礼申し上げます。

本年度は、二木隆行理事長のもと「Create The Future〜未来にタネをまこう〜」というスローガンを胸に一致団結し新しい時代の事業をメンバー全員でつくっていくことと思います。

もしかしたら前例や過去が参考にならないことも多く事業の組み立てや創意工夫は私の時代のそれとは比にならないこともあると思いますが、一致団結してこの新しい時代の先頭を走っていただきたいとOBのひとりとして心より応援し、OB会として最大限の支援をしていきたいと考えています。会員減少や時代の移り変わり、様々な困難はあると思います。「乗り越えられる人のもとにしか、その壁は現れない」と言います。

この課題や困難をメンバー一丸で乗り越えた先：きつと未来には「礎」としてメンバーの心に強く刻まれることを願っています。まさに今年度、「Create The Future」で未来に向けてまいいたタネは近い将来、地域の子どもたちの心に花を咲かせ、大きな樹木となって宇部市の未来を照らすものと確信しています。

結びになりますが、本年も宇部市を愛し、想いをもって全力で歩みを進める二木隆行理事長率いる若き現役メンバーに変わらぬご指導、ご協力をお願いし、一般社団法人宇部青年会議所のさらなる発展と、かわるすべての皆様の益々のご健勝、ご多幸をお祈りして、OB会長の新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしく願います。

2022

年頭の御挨拶

直前理事長
藤井茉莉

明けましておめでとうございます。2022年の輝かしい年頭にあたり、皆様にはお健やかに新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。また、平素より一般社団法人宇部青年会議所の活動に対して、温かいご理解と多大なるご支援やご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

2021年度は「錦上添花く助け合いで生まれる新たな彩り」というスローガンのもと、

- ・ 未来へつなげる会員拡大
- ・ 多様な輝きを見いだせる人財の育成
- ・ 互いを思いやり受け入れられる組織力の強化
- ・ 新しい価値観と共生していけるまちづくり
- ・ 人と人との繋がりを意識できる青少年の育成

を基本方針に掲げ、求められていることを捉え、今できることを考え、今までは異なった形であってもチャレンジすることを目指して運動を行ってまいりました。2020年から続く新型コロナウイルス感染症という脅威は、2021年の間ずっと私たちと共にありました。脅威を

避けるだけでは進展はなく、共存ながらも歩みを止めない道を選び、事業形態の変更や新しいスタイルへの取り組みに対し、果敢に挑んできた1年間であったと感じております。私たちがくじけることなく運動を行うことが出来たのは、皆様方の温かいご理解やご支援、ご協力だけではなく、同じような悩みを抱えながらも歩みを止めずに挑戦していく多くの皆様方の姿に勇気づけられたおかげでもあります。この場をお借りいたしましたので、改めて皆様方に心より感謝申し上げます。

昨年は宇部市が市制施行100周年を迎えた、記念すべき年でもありました。宇部村から一足飛びに宇部市となった1921年にも、きつと多くの方々の努力や挑戦があり、その熱意を受け継いだからこそ今があるのではないのでしょうか。一個人ではなかなか成しえない事も、互いが助け合うことで徐々に変化をもたらすことが出来るということを、組織としての活動を通して学んできております。人口減が目に見える状態になってきている今日、個々の関係性の比重が増してきています。その一つ一つを大切に、大切に育てていくことで未来を創り上げることが私たち青年会議所に求められる責務だと再認識いたしました。結びとなりますが、2022年は二木隆行理事長の掲げられる「Create The Future〜未来にタネをまこう〜」というスローガンのもと、未来を創り上げる人材を育て将来につながるために、しっかりと青年会議所運動に進じてまいります。本年も更なるご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様方の益々のご活躍とご健勝、並びに益々のご発展をご祈念申し上げます。本年も何卒よろしく願います。



副理事長
今橋智之

明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

平素は一般社団法人宇部青年会議所の活動にご支援・ご協力を賜りまして心より感謝申し上げます。

2022年度副理事長を拝命いたしました。今橋智之と申します。一年間どうぞ宜しくお願い致します。

昨年は副理事長として指導力開発委員会と、教育開発委員会を担当させていただきました。藤井理事長の支えとなることに全力を尽くし、両委員会へ想いを伝え、しっかりとした事業を行ってくれました。教育開発事業では、山口ブロックの褒章審査会でグランプリをとることが出来たことなど大変貴重な経験をさせていただきました。副理事長という立場がむずかしくいろいろと考えさせられる1年でしたが、自身の成長へとつなげることが出来た1年だと感じました。この場をお借りして、私を支えてくれたすべての皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

本年度、二木理事長の掲げられる「Create The Future ～未来にタネをまこう～」のスローガンのもと、活動していきたいと思えます。私は今年で40歳となり卒業ですが、いままでも多くの先輩から教わってきたことをしっかりと伝え、これからの青年会議所を担うメンバーへタネをまいて行きたいと思えます。また、担当します次世代育成委員会と、社会開発委員会が、しっかりと活動ができるよう共に努めてまいります。

最後になりますが、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



副理事長
花村浩史

新年あけましておめでとうございます。新たな年を迎え、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。平素は一般社団法人宇部青年会議所の活動にご支援・ご協力を賜り心より感謝申し上げます。本年度、副理事長を拝命いたしました花村浩史と申します。何卒よろしくお祈り申し上げます。

昨年度は、指導力開発委員会の委員長として、宇部青年会議所の未来を担う、6名の新人会員をお預かりしました。新型コロナウイルスの影響を受けながらも可能な限り、事業を実施して参りました。特に新人会員研修会では、講師として、橋本直樹先輩、新山智幸先輩をお招きし、JAYCEE Eとしての心構えなどを熱く伝えていただきました。快くお引き受けくださいました。大変ありがとうございます。

本年度は指導力開発委員会と経営開発委員会の二委員会を担当させていただくことになりました。二木理事長が掲げられたスローガン「Create The Future ～未来にタネをまこう～」の下、次代を担う人材の育成や、若者の流出を少しでも減じられるような事業を行ってまいります。

また本年度、私は卒業年ということもあり、審査委員会委員長も拝命いたしました。宇部青年会議所に入会するのにふさわしい人物か、一人でも多くの入会候補者を審査できるように、皆様のご協力のほど何卒よろしくお祈り申し上げます。

結びになりますが、皆様のご健勝と限りないご多幸をお祈り致しますとともに、本年度も宇部青年会議所に変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



専務理事
好野 修

新年明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

平素は一般社団法人宇部青年会議所の活動にご支援、ご協力賜りまして誠にありがとうございます。本年度、二木理事長より専務理事を仰せつかりました、好野修と申します。青年会議所における大変重要な役割をいただき、身の引き締まる思いでございます。一年間どうぞよろしくお祈り致します。

本年度、二木理事長の掲げられたスローガン「Create The Future ～未来にタネをまこう～」の下、宇部青年会議所の活動が定款・諸規定に沿って円滑に行えるよう、運営を担う立場として、理事長と組織全体を強く支えるとともに、対外的にも自身に与えられた役割に責任を持ち、地域に向けて魅力ある活動を展開し、多くの若者が集うことにつなげてまいります。

また、担当させていただく総務渉外広報委員会では、2022年度最初の対外事業となる新年式典の運営をはじめ、毎月の理事会や例会の運営、広報活動、JCニュースの発刊など、一年間を通じて、宇部青年会議所の根幹を成す職務を多く抱えております。経験の浅いメンバーも多くおられますが、真宅委員長・飯塚副委員長としっかりと協力して、メンバー一人ひとりが組織を支える自覚と責任を持って職務に取り組み、めまぐるしく変化する社会や、地域へのアンテナを高くし、改めるべきもの、守るべきものをしっかりと見分け、挑戦し行動できるよう努めてまいります。

最後になりますが、皆様方の一年間のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



監事
天野雄太

新年明けましておめでとうございます。二〇二二年度の輝かしい年頭にあたり、謹んでお慶び申し上げます。

昨年は藤井理事長の下、副理事長として沢山の方のお力をお借りし、上がったり下がったりと色々ありましたが、大きな職務を何とか全うすることが出来たと思えます。この場をお借りして心より御礼申し上げます。

さて、本年度は二木理事長の下、監事という大役を務めさせていただきました。ことになり、今まで以上に襟を正して、日々青年会議所活動に邁進する所存でございます。

監事は、宇部青年会議所を大きな観点から監督的な立場で運営を見守り、時には厳しいことも言わなければなりません。自らを律する意味でも、積極的に発言し、二〇一五年度に入会して以来、多くの諸先輩方や仲間から学んできたことを恩返しする年としたと思います。そして、それが宇部青年会議所活動の一助になればと願っています。

私は、二木理事長が掲げられるスローガン「Create The Future ～未来にタネをまこう～」を念頭に置きながら、宇部市民を見て宇部青年会議所がどう思われるか、という視点をいつも持ちつつ、理事会運営や例会、事業に参加し、より良い宇部青年会議所になれるよう、他の会員と共に取り組んで参ります。

最後になりますが、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げますとともに、宇部青年会議所に変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



次世代育成委員会
委員長
薬丸賀寿子

■次世代育成委員会スローガン

「感謝の連鎖」

明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

平素は一般社団法人宇部青年会議所の活動にご支援、ご協力賜りまして誠にありがとうございます。

2022年度次世代育成委員会の委員長を仰せつかりました薬丸賀寿子と申します。高谷副委員長をはじめとする委員会メンバー共々、一年間どうぞよろしくお願致します。

次世代育成委員会では、二木理事長が掲げられましたスローガン「Create The Future〜未来にタネをまこう〜」のもと、歴史あるヤングスポーツ大会の開催や、次代を担う子どもたちの成長に向けた事業を展開します。子どもたち自身の目で見て、体と心で感じながら、明るい未来を創っていく上で本当に大切なものは何かを見つけてもらえるよう取り組んでまいります。

当委員会では、日頃支えてくださる全ての方に対して感謝の気持ちを持ち、真剣に楽しみながら運動を展開することで、次代を担う子どもたちが「宇部のまちに生まれてよかった」「宇部市が好き」そう思える地域を創造していきたいと考えております。

最後になりますが、今年一年が活力に溢れ笑顔輝く素晴らしい年となりますよう心からご祈念申し上げますとともに、皆様のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

一年間どうぞよろしくお願いたします。



社会開発委員会
委員長
金子 翔

■社会開発委員会スローガン

「体温と体重」

新年明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

平素は一般社団法人宇部青年会議所の活動にご支援、ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

委員長の職を仰せつかりました、金子翔と申します。私のような若輩者がこのような大役を仰せつかりまして大変恐縮ではございますが、精一杯頑張つて参りますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願致します。

また、波多野副委員長をはじめ、委員会メンバー共々よろしくお願申し上げます。

本年度、二木理事長が掲げられました「Create The Future〜未来にタネをまこう〜」のスローガンのもと、当委員会では「体温と体重」をスローガンとさせて頂きました。言葉に『体温と体重』を乗せて伝えることで、言葉に込めた熱い気持ちや言葉の重みなど伝えることをより深く意識して伝えれば、より相手に伝わりやすくなると思います。社会開発委員会では、想いを言葉にして伝える大切さを心に刻み、地域の課題をよりわかりやすく市民の方々に伝え、共に地域発展へ寄与していきたいと考えます。

地域の皆様と夢と希望を持てる魅力的なまちづくりの為に、メンバーと共に一年間邁進してまいります。

結びとなりますが、皆様方のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。一年間どうぞ宜しくお願申し上げます。



指導力開発委員会
委員長
中村勝則

■指導力開発委員会スローガン

「刻石流水」

新年明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶び申し上げます。

平素は一般社団法人宇部青年会議所の活動にご支援、ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

本年度、指導力開発委員会の委員長を仰せつかりました、中村勝則と申します。

本年度、二木理事長の掲げられるスローガン「Create The Future〜未来にタネをまこう〜」のもと、指導力開発委員会のスローガンを「刻石流水」とさせて頂きました。「刻石流水」とは受けた恩は心の石に刻み、自分が施した事は水に流すという意味です。

私は2014年に青年会議所へ入会して以来、先輩や同期の仲間から助けられ、様々な恩を受けてここまで活動ができました。この受けた恩を思い返しながら新入会員に伝え、活動して参ります。先輩諸兄から学ばせていただいたことで私達では当たり前の事でも、新入会員には戸惑い、理解に苦しむ事があると思います。それらを丁寧に説明し受け継ぐ事で、入会者へ新たな感覚を取り込ませることに、入会者の成長に繋げ、明るい豊かな社会の実現に寄与できる人材を造って参ります。

そして、担当の花村副理事長、高橋副委員長とともに、委員会を盛り上げて、入会してよかったと言える委員会にしたいと思います。

結びとなりますが、皆様方のこの一年のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。一年間どうぞよろしくお願致します。



経営開発委員会
委員長
松本誠矢

■経営開発委員会スローガン

「紡」

あけましておめでとうございます。謹んで新春のお慶び申し上げます。

平素は一般社団法人宇部青年会議所の活動にご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

2022年度、経営開発委員会の委員長を仰せつかりました、松本誠矢と申します。

山下副委員長をはじめ、委員会メンバー共々、一年間どうぞよろしくお願申し上げます。

本年度、二木理事長が掲げられました「Create The Future〜未来にタネをまこう〜」の下、経営開発事業など6つの事業を当委員会は展開して参ります。

メイン事業である経営開発事業では、若者の人口流出を課題とし、宇部市内の大学生をターゲットとした学校では体験できないような経営を学べる事業を展開し、最終的には宇部市内への就職や将来的に宇部市に住みたいと思えるような事業を行っていきたくと考えております。そして何より、この委員会であった、楽しかったとメンバーが思っていただけに、花村担当副理事長と山下副委員長と共に盛り上げていきたいと思っております。

大任を仰せつかり大変恐縮ではございますが、その責に恥じぬよう精進してまいりますので、皆様のご支援ご協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

末筆ではございますが、皆様の一年間のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。一年間どうぞ宜しくお願致します。



総務渉外広報委員会
委員長
真宅裕一

■ 総務渉外広報委員会 スローガン 「挑戦」

あけましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

2022年度、総務渉外広報委員会委員長の職を仰せつかりました、真宅裕一と申します。飯塚副委員長をはじめ、委員会メンバー、どうぞよろしくお願い致します。

本年度、二本理事長の掲げられる「Create The Future ～未来にタネをまこう～」のスローガンのもと、当委員会のスローガンを「挑戦」とさせて頂きました。

私たち総務渉外広報委員会は、宇部青年会議所の根幹となる総会・理事会・例会の運営を円滑かつ厳粛に行う為に万全な体制で挑める様に務めます。そして我々宇部青年会議所の魅力ある事業を展開・発信していく為にホームページや現代におけるSNS等を活用していきます。年間を通じて行われる事業の告知や活動報告を迅速に発信し、多くの方に興味を持って頂ける様に従来の手法だけでなく複合的な手法での広報活動を行います。

2022年度総務渉外広報委員会ではメンバー全員が様々な事に『挑戦』を続け、自分自身を信じて決意を持ち、宇部青年会議所がより強固な組織となるよう運営をし、すべての事業が大成となるよう支えたいと思っております。

結びとなりますが、皆様のこの一年のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせて頂きます。一年間どうぞよろしく申し上げます。

新年の抱負

じゃがいも会

幹事 後田圭一郎



あけましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。2022年度じゃがいも会の

幹事を務めさせて頂いた後田圭一郎と申します。じゃがいも会は先輩諸兄とゴルフを通じて親睦を深めることが出来る数少ない大変貴重な機会だと伺っております。この素晴らしい会の幹事を務めさせて頂くことを嬉しく思うと同時に重責に身が引き締まる思いを感じております。

昨年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響もある中、前幹事の西侯君が全5回のじゃがいも会を全て開催するという素晴らしい運営をされました。今年も新型コロナウイルス感染症の影響は懸念されますが、皆様の健康に配慮しながら全5回開催できるよう努めて参ります。

また、私の職業はゴルフ工房を経営しておりますのでその経験を活かし、ゴルフ未経験の方やゴルフから足が遠のいている方にも楽しく参加していただけるような取り組みを行っていただければと考えております。一人でも多くの方のご参加をお待ちしております。至らぬ点も多いかと存じますが1年間ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びとなりますが、皆様のご健康とご多幸を申し上げます。新年のご挨拶とさせて頂いたさせていただきます。

新年の抱負

野球部会

監督 天野雄太



新年あけましておめでとうございます。謹んで初春のお慶びを申し上げます。平素は一般社

団法人宇部青年会議所野球部会の活動にご支援ご協力を賜り誠にありがとうございます。本年度野球部会の監督を務めさせていただきます天野雄太と申します。

昨年は山口プロロック球技大会で、まさかの初戦敗退という結果におわり、私自身のバットも火を噴くことなく終わってしまいました。本年度は、キャプテンやマネージャーを筆頭にメンバーの士気が非常に高く、コロナ禍ということもあり忘れかけていた熱い気持ちを思い起こさせてくれました。初戦敗退のチームが言うのは烏滸がましいかもしれませんが、全国の舞台上に立ち、勝って皆様にご報告ができるよう精進して参ります。技術的にも今のメンバーであれば可能であると私は信じています。

結びに、皆様方におかれましては、これまでと変わらぬご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。一年間、野球部会をどうぞよろしくお願

い申し上げます。

新年の抱負

サッカー部会

幹事 今橋智之



明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。昨年引き続き

き本年度、サッカー部会監督を務めさせて頂いた今橋智之と申します。キャプテンの中川五郎君、マネージャーの田中正寛君とともに、積極的に活動していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

昨年は、活動ができませんでした。いろいろな状況下ではありましたが私の気持ち足りなかったことだと思っております。申し訳ございませんでした。

本年度は、私事ではありますが、ラストイヤーということで、現役としてサッカーができる最後の1年間となります。悔いのないように多くの練習を行い、試合に参加し、メンバーと交流を行って絆を深めていきたいと思っております。先輩方におかれましては、練習や試合を行う際、お声をかけさせていただきます。一緒にサッカーをして頂けたら幸いです。

最後になりますが、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。一年間どうぞよろしく申し上げます。

新年式典



総務渉外広報委員会
五十崎良

明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

1月17日に、ANAクラウンプラザホテル宇部 国際会議場にて2022年度新年式典を開催させていただきました。

当日は、ご多忙の中、宇部市長篠崎圭二様をはじめ、多くのご来賓の皆様、宇部青年会議所OBの皆様にご臨席賜り、誠にありがとうございました。

オープニングでは2021年度の事業紹介ムービーにて昨年度の事業のご報告



と、2022年度宇部青年会議所第67代理事長とスローガンの紹介をさせていただきました。二木隆行理事長による挨拶では2022年度のスローガン「Create The Future（未来にタネをまこう）」に込められた想いと基本方針について語られました。

理事長の挨拶に続き、ご来賓の宇部市長篠崎圭二様、宇部商工会議所会頭杉下秀幸様、宇部青年会議所OB会会長新山智幸様からのご祝辞をいただきました。続いて、2022年度理事・幹事の紹介を行いました。

最後は宇部市議会議長河崎運様のご発声により、全員で万歳三唱を行い、盛会のうちに終了となりました。

新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、急遽飲食を含んだ懇親会を中止した中で短時間での開催となりましたが宇部青年会議所の新たな船出を飾ることができました。

開催に際しては、真宅委員長、飯塚副委員長のもと、総務渉外広報委員会のメンバー全員で準備を進めてまいりました。経験年数の浅いメンバーが多い中で、準備段階、当日の進行に行き届かない点多々ありましたが、新年総会を無事に終えることができました。これも一重に現役会員、関係者の皆様のご協力があったる事であると深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

京都会議



総務渉外広報委員会
清水真吾

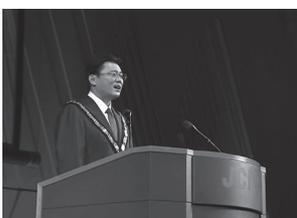
2022年1月21日（木）、22日（土）、23日（日）に京都会議が開催されました。

今年度の京都会議は新型コロナウイルス感染拡大防止策を強化し、ハイブリッド形式での開催となり、私は宇部の地で京都会議を拝見させて頂きました。

新年式典では、セレモニーから始まり歴代会頭紹介、賛助企業、協力団体の紹介、役員紹介が行われました。

直前会頭挨拶では「我々は自らの地域をより良くするために行動」しなければなりません。述べられました。

その後、第71代会頭中島 土君より、スローガン「愛が、希望に変えていく。」について「まちにより良い変化をもたらす、愛が溢れる国をつくる」を基本理念とした会頭所信が発表され、まちのビジョン策定



のほか、理念が浸透し、運動をおこし続ける組織へのさらなる進化、そして成長と分配の好循環を生み出す新しい資本主義への貢献。さらに自由と民主主義を守る運動など多くのプロジェクトを作り、社会に愛を広げていきます。と述べられました。

持続可能なまちをつくるために、幅広い社会課題解決へ果敢に挑戦し続けるJCの力を信じています。JC運動を最大化するためには、まちの「仕組み」をより良く変えていくことが求められます。自走する「仕組み」を変えることで、地域は良くなり続け、社会は変わり続けることができる。というお言葉に感銘を受けました。

JCは、まちや社会全体を青年の目線から幅広く捉え、問題のある仕組みを自ら見つけ、より良く変えていくことができます。ターゲットを絞った社会活動も、もちろん素晴らしいのですが、持続可能な地域をつくるために、多種多様な、幅広い社会課題解決へ果敢に挑戦すべき強みです。

持続可能な地域をつくるために、多種多様な、幅広い社会課題解決へ果敢に挑戦することが大切だと強く思いました。京都会議で学んだ事を活かし、これからのJC活動に積極的に取り組んでまいります。



会頭所信

2022年度 公式スケジュール

	全体事業及び行事	
1月	11日(火) 11日(火) 17日(月) 20日(木)～23日(日) 29日(土)	理事会 例会・定時総会 新年式典〔総務渉外広報〕 京都会議 会員会議所会議
2月	7日(月) 14日(月) 26日(土)	理事会 例会 会員会議所会議
3月	7日(月) 14日(月) 22日(火) 24日(木)	理事会 3 J C 合同例会(宇部) OBナイター例会(国際ホテル宇部) 会員会議所会議
4月	4日(月) 11日(月) 23日(土)	理事会 例会〔社会開発〕 会員会議所会議
5月	2日(月) 9日(月) 16日(月) 21日(土)	理事会 例会〔総務渉外広報〕 OBナイター例会 (ANAクラウンプラザホテル宇部) 会員会議所会議
6月	5日(日) 6日(月) 13日(月) 未定	萩65周年記念式典(萩) 理事会 例会・臨時総会〔次世代育成〕 会員会議所会議

	全体事業及び行事	
7月	2日(土) 3日(日) 4日(月) 11日(月) 16日(土)～17日(日) 19日(火) 30日(土)	山口ブロック球技大会前夜祭(岩国) 山口ブロック球技大会(岩国) 理事会 例会〔経営開発〕 サマーコンファレンス OBナイター例会(国際ホテル宇部) 会員会議所会議
8月	1日(月) 8日(月) 21日(日) 28日(日)	理事会 例会・臨時総会 周南20周年記念式典(周南) 中国地区野球大会(境港)
9月	5日(月) 12日(月) 20日(火) 24日(土)	理事会 例会〔総務渉外広報〕 OBナイター例会 (ANAクラウンプラザホテル宇部) 会員会議所会議
10月	3日(月) 7日(金)～10日(月) 11日(火) 15日(土) 29日(土)	理事会 全国大会(大分) 例会〔次世代育成〕 山口大会(吉南) 会員会議所会議
11月	7日(月) 14日(月) 21日(月) 26日(土)	理事会 例会〔指導力開発〕 OBナイター例会(国際ホテル宇部) 会員会議所会議
12月	5日(月) 12日(月) 12日(月)	理事会 例会・卒会式〔総務渉外広報〕 忘年会(予定)〔経営開発〕

※ 最新のスケジュールは、
ホームページ (<https://ubejcc.com>) をご覧ください。

我、年男!

高谷 栄志
(昭和61年5月2日生)

片山 治幸
(昭和61年5月3日生)

島田 政俊
(昭和61年8月13日生)

2022年度出向者

公益社団法人日本青年会議所中国地区山口ブロック協議会	
山口ブロック協議会 監査担当役員	藤井 茉莉
L O M支援委員会 委員長	西俣 颯斗
L O M支援委員会 副委員長	天野 雄太
L O M支援委員会	西野 晋司
L O M支援委員会	藤井 誠
L O M支援委員会	本田 博照
理念共感人財育成委員会	瀧口 堅太
スポーツの力委員会	後田 圭一郎
スポーツの力委員会	清水 真吾

『うべかるた』



長州四団体連絡協議会

秋月 一

私は2021年度、長州四団体連絡協議会に出向させて頂きました秋月と申します。

長州四団体連絡協議会ですが当初は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、思う様に集まれず事業を組み立てる事に苦戦しておりましたが、Zoomやメール、LINE等のオンラインツールを使用し、新しい形式での会議を行いました。また、少しずつ新型コロナウイルス感染症拡大が収まってからは、対面形式での会議を行うことが出来、宇部市の為に出来る事を宇部青年会議所だけでなく、四団体で話しあえた時間は私にとってかけがえの無い時間となりました。そして、会議の中で、『子どもたちに地元の歴史に親しんでもらいたい』という思いを込めて『うべかるた』を作成致しました。赤間硯(すずり)、宇部ラーメン、白土海岸など、なじみのある場所や名物を撮影した絵札と、その魅力を説明した読み札を50音分考え、子どもから大人まで老若男女問わず楽しめる内容となりました。また、宇部市政100周年に因んで100セット製作し、宇部市役所に寄贈致しました。寄贈した『うべかるた』は、宇部市から小学校や幼稚園、保育園、保

施設等に寄付して頂き、子ども達が少しでもかるたに記載されている場所や物に興味を持って頂けるのではないかと思います。今回寄贈させて頂いたかるたは、宇部市役所のホームページまたは宇部青年会議所のホームページからダウンロードする事が出来ますので皆様ぜひ遊んでみてください。

私は、この出向で普段なかなか交流の出来ない他団体との意見を伺うことが出来、普段と違う着眼点や会議の運営方法、そして新たな出会い・友情と、とても学びの多い出向となりました。今回、この団体に出向させて頂いたことを大変嬉しく思います。今後は、この経験を活かしてより良いJCライフを送りたいと思います。



山口大会 褒賞事業



教育開発委員会

西俣颯斗

私は昨年の9月より宇部青年会議所に入会し、気付けば一年が経過しました。何もわからなかった昨年よりも、今年には自分自身とも成長させて頂き、改めて宇部青年会議所に入会して良かったと思う一年でした。

今年には教育開発委員会のメンバーの一員として、真宅委員長、榎木副委員長のもと、多くの先輩方や同期とともに、小学生を対象としたプログラミングを学んでもらう教育開発事業「UBECRAFT ゲームで作ろうUBECITY」や、「JCヤングススポーツ大会」などの事業を経験させて頂きました。

特に「UBECRAFT ゲームで作ろうUBECITY」では、宇部青年会議所が始まって以来、対外事業では初のWEB事業を行い、山口ブロック褒賞審査会にてグランプリを受賞出来たことは、一生忘れる事のない思い出となりました。

事業を行うにあたり、企画の段階からメンバー一丸となって皆さんの話し合いを行って頂きました。どうしたら子供たちに現代の学びと経験を持って帰ってもらえるか、どうしたら直接会えない環境の中でうまくコミュニケーションがとれるか、試行錯誤の日々でした。事業当日、オンライン上でしかやりとりが出来ない中、最初はそれぞれが自由に行動していた小学生が次第に協力し合い、チャットでコミュニケーションを取りながら一つの課題を解決していく姿を見て、胸が熱くなりました。

褒賞審査会でグランプリを受賞出来たこと、また、子どもたちが喜ぶ顔を見る事が出来、他では味わえない達成感を味わえたことは、宇部青年会議所に入会して本当に良かったと思えた瞬間でした。

また、JCヤングススポーツ大会では、コロナ禍ということもあり、開催できた団体と残念ながら開催出来なかった団体がありました。開催できた競技では、日頃の練習の成果を発揮する小学生、それを応援する保護者の方を見て、一つの大会を運営することの価値を改めて実感しました。

私は、今年、教育開発委員会のメンバーになれて本当に良かったと思っています。今年、教育開発委員会を経験し学ばせていただいたことを、これからの青年会議所活動に活かしていきたいと思っています。

一般社団法人 宇部青年会議所

メンバー募集

お問い合わせ先

0836-33-2838

(一般社団法人 宇部青年会議所 事務局)

E-mail:mail@ubejc.com



青年会議所とは

1949年、明るい豊かな社会の実現を理想とし、責任感と情熱をもった青年有志による東京青年商工会議所(商工会議所法制定にともない青年会議所と改名)設立から、日本の青年会議所(JCI)運動は始まりました。

共に向上し合い、社会に貢献しようという理念のもとに各地に次々と青年会議所が誕生。1951年には全国的運営の総合調整機関として日本青年会議所(JCI 日本)が設けられました。

現在、日本全国に青年会議所があり、「修練」「奉仕」「友情」の三つの信条のもと、よりよい社会づくりをめざし、

ボランティアや行政改革等の社会的課題に積極的に取り組んでいます。さらには、国際青年会議所(JCI)のメンバーとして各国の青年会議所と連携し、世界を舞台として、さまざまな活動を展開しています。

青年会議所には、品格ある青年であれば、個人の意志によって入会できますが、20歳から40歳までの年齢制限を設けています。これは青年会議所が、青年の真摯な情熱を結集し社会貢献することを目的に組織された青年のための団体だからです。

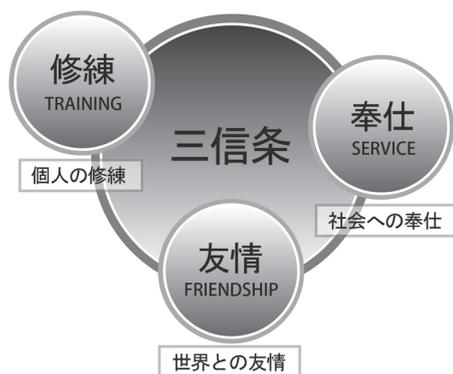
会員は40歳を超えると現役を退かなくてはなりません。この年齢制限は青年会議所最大の特性であり、常に組織を若々しく保ち、果敢な行動力の源泉となっ

ています。

各青年会議所の理事長をはじめ、すべての任期は1年に限られます。会員は1年ごとにさまざまな役職を経験することで、豊富な実践経験を積むことができ、自己修練の成果を個々の活動にフィードバックさせていくことができます。

青年会議所におけるさまざまな実践トレーニングを経験した活動分野は幅広く、OBも含め各界で社会に貢献しています。たとえば国会議員をはじめ、知事、市長、地方議員などの人材を輩出、日本のリーダーとして活躍中です。

JC三信条



修練 TRAINING (トレーニング)

個人の修練 (地上最大の宝は個々の人格にあり)

奉仕 SERVICE (サービス)

社会への奉仕 (社会への奉仕は人生最大の仕事である)

友情 FRIENDSHIP (フレンドシップ)

世界との友情 (友情は国家主権に優先する)

この三信条の意は、JCI運動とは、若い人々が集まって自己啓発・修練を行う場であり、培われた力を用いて地域社会にサービス(奉仕)する事である。そして、そのトレーニング・サービスを支える力として、会員全員、同士を貫くフレンドシップ(友情)がある。というものです。

青年会議所 Q & A

Q 仕事が忙しいのですが、続けることはできるのでしょうか？
A 私たち青年会議所の会員も仕事が忙しい中、JCI活動をしています。その中で時間の有効な使い方を身につけています。むしろ、時間の使い方を学んでいくためにお勧めしています。

Q JCI活動を続けていくと、費用はかかりますか？
A 確かにある程度費用はかかります。しかしJCI(青年会議所)に入会すれば、各種のセミナーへ参加したり、地域を越えた仲間が沢山できます。経営者としてのノウハウや指導力を身につけ、ネットワークを広げられると思えば、むしろ、安いぐらいです。一般の研修や講習会の費用と比較してみてください。ぜひ自分への先行投資と前向きに考えてみてはどうでしょうか。

Q JCI活動は女性でもできるのですか？
A JCIの理念である「明るい豊かな社会」の実現は、男性だけでできるものではありません。ぜひ、あなたの感性を活かしてください。全国でも数多くの女性会員が活動しています。

Q 年齢的にまだ若いと思うのですが、入会することはできますか？
A 人と人とのネットワークは、若ければ若いほど作りやすいし、また、JCIの中でもそれだけ沢山のことを経験できます。

Q 経営者ではないのですが、入会することはできますか？
A 経営者だけを対象とする団体ではありません。まちづくりやひとづくりといったJCI活動は経営者か否かとは関係ありません。

Q JC出身者にはどのような人がいますか？
A 地域のリーダーを育成するJCIには、多くの卒業者が各地で活躍しています。
 ■ 著名な卒業生(順不同、敬称略)
 チャールズ・リンドバーグ、リチャード・ニクソン、コフィー・アナソ、ジャック・シラク、ビル・クリントン、ビル・ゲイツ、麻生太郎、小淵恵三、菅直人、小泉純一郎、中曽根康弘、鳩山邦夫、鳩山由紀夫、森喜朗、市川圓蔵、犬丸一郎、牛尾治朗、黒川光朝、坂田藤十郎、塩川正十郎、千玄室、鳥井信一郎、服部禮次郎、森稔

新年あけましておめでとうございます。二木理事長のもと「True the Future(未来にチカラをまこう)」をスローガンに掲げまして2022年度がスタートいたしました。本年度は二木理事長より「次世代を担う人づくり」、「夢と誇り」の持てる町づくり、「力強い組織づくり」、「魅力あるJCIブランドづくり」の4つの基本方針が挙げられました。

一昨年から続く新型コロナウイルス感染症はいまだに荒波をたて、生活様式が日々変わっております。例会や各種セミナー、式典は感染対策を徹底した上での現地開催に伴い、webでの開催もされるハイブリット形式で新たに行われるようになってまいりました。

また昨年はそんな変わりゆく日々の中、宇部青年会議所が設立以来初めてとなる山口ブロック協議会褒賞審査委員会におきましてニューノーマル部門グランプリを獲得することができました。本年度は経験の少ないメンバーも多し、会員同士支え合い、一丸となって、宇部青年会議所は二木理事長の掲げるよう未来に向けてさまざまなことを新しく「人・町・組織・JCIをつくる」という挑戦をしてまいります。

今回JCIニュースを発刊するにあたり、寄稿頂きました関係者各位、またメンバーの皆様におかれましては、年始の大変お忙しい中、ご協力いただきましてありがとうございます。心より感謝申し上げます。1年間どうぞ宜しくお願い致します。



総務渉外広報委員会 飯塚 隆博

編集後記